

平成24年度（第5期）

当別町小中高生TOWNミーティング

活動報告書



当別町を全国区にするには
～PR大作戦～

当別町教育委員会社会教育課

平成 24 年度（第 5 期）当別町小中高生 TOWN ミーティング 事業概要

- 1 趣 旨 当別町内の小・中・高等学校の児童会・生徒会役員が集い、課題解決方法の学習や他校児童・生徒との情報交換を通じ、各学校の活動や地域との関わりについて考え、リーダーとしての資質向上や児童会・生徒会活動の活性化を図る。
- 2 主 催 当別町教育委員会
- 3 協 力 当別小学校、西当別小学校、弁華別小学校
当別中学校、西当別中学校、弁華別中学校
当別高等学校、星槎国際高等学校、北海道医療大学
- 4 内 容 第 1 回 日時：11 月 21 日（水） 16：00～17：30
会場：白樺コミュニティーセンター大研修室
内容：・趣旨説明、自己紹介、アイスブレイク
・児童会、生徒会の活動について意見交換
・話し合いの方法の学習

第 2 回 日時：11 月 28 日（水） 16：00～17：30
会場：白樺コミュニティーセンター大研修室
内容：・グループディスカッション
テーマ「当別町を全国区にするには～PR大作戦～」

第 3 回 日時：12 月 1 日（土） 10：00～12：00
会場：北海道医療大学当別キャンパス
内容：・医療大学キャンパスの見学
・医療大生とのグループディスカッション結果発表会
- 5 対 象 当別町内小・中・高等学校の児童会・生徒会役員
（各学校の代表者 2～3 名）
- 6 そ の 他 ・事業に関して共通理解を図るため担当教諭会議を下記のとおり開催する。
10 月 11 日（木）15：30～16：30 白樺コミセン（趣旨や活動予定説明）
・事業当日、担当教諭については可能な範囲で見学いただく。
・参加者の集合は次のとおりとする。
西当別小・中学校児童・生徒 西当別コミセン集合（会場まで送迎）
弁華別小・中学校児童・生徒 弁華別中玄関前集合（会場まで送迎）
上記以外の児童・生徒 白樺コミセン集合（3 回目は医療大まで送迎）
- 8 問 合 せ 当別町教育委員会社会教育課社会教育係
〒061-0233 当別町白樺町 2792 総合体育館内
Tel22-3834 FAX22-3832 Email：kyoshakai1@town.tobetsu.hokkaido.jp

平成 24 年度（第 5 期）当別町小中高生 TOWN ミーティング 内容

第 1 回 日時：11月21日（水） 16：00～17：30

会場：白樺コミュニティーセンター大研修室

内容：○趣旨説明

○自己紹介、アイスブレイク

・自己紹介ゲーム

○児童会、生徒会の活動について意見交換

・なぜ児童会、生徒会役員になってみようと思ったか？

・児童会、生徒会役員になってよかったと思うことは？

・自分たちの児童会、生徒会ではどんな活動をしてるか？

○話し合いの方法の学習

・ブレインストーミング、KJ法の手法を用いて簡単なテーマで練習

○当別町紹介DVD視聴

第 2 回 日時：11月28日（水） 16：00～17：30

会場：白樺コミュニティーセンター大研修室

内容：○グループディスカッション

テーマ「当別町を全国区にするには～PR大作戦～」

・当別町のいいところは？

・そのPR方法は？

（KJ法を用いてアイディアの掘り起し）

・当別町のキャッチコピーを考える

○結果発表会へ向けて準備

・シートにまとめ、発表の役割など分担

第 3 回 日時：12月 1日（土） 10：00～12：00

会場：北海道医療大学当別キャンパス

内容：○大学生によるアイスブレイクゲーム

○医療大学キャンパスの見学

○医療大生とのグループディスカッション結果発表会

・Aグループ→Bグループ→Cグループ→Dグループ→大学生
の順で発表。

・グループごとに、自分たち以外のグループの発表に対して感想や質問
を話し合い。

・感想と質問の発表と、質疑に対する応答。

・ゲストからのコメント

当別町役場企画部まちの未来推進室 主幹 吉尾 恵子 様

当別町役場企画部情報課 主幹 大畑 裕貴 様

当別青年会議所 専務理事 市川 智大 様

ふとみ銘泉万葉の湯 支配人 長野 浩 様

○アンケート記入

○まとめ

児童会、生徒会についての情報交換から

Q1 なぜ児童会、生徒会役員になってみようと思いましたか？

- 当別小学校を今よりもっといい学校にしようと思ったからです。そして、児童や学校の役に立ちたいと思ったからです。
- 当別小学校を今よりもっとよくしたいと思ったから。
- 学校をよりよい学校にし、学校の人々をひっぱっていきたいと思ったからです。
- 学校、全児童の先頭に立ってみたかったから。責任感のある仕事をしたいから。
- 5年の時に1度やって、児童会が楽しかったし、最後なので責任のある仕事がやりたかったから。将来の仕事に役立つと思ったからです。
- 副会長の仕事を前やってみて、ぜひ会長の仕事にも取り組んでみたかったので会長になってみようと思いました。
- 色々な新しいことに取り組み、この学校をもっと良くしようと思ったから。
- もっと楽しい学校にしたかったからです。個人的には1年生の時の活動が楽しかったので続けてやりました。でも会長という役職には慣れてないので大変です。
- 当別中学校をよりよくしたかったし、悪いところを改善して良いところをもっと伸ばして、誰もが楽しい学校にしたいと思ったからです。
- 学校のために役に立ちたかったから。自分自身も成長するため。
- 生徒全員に学校が楽しいと思ってもらうためと、あいさつをしっかりとできる学校にしたいからです。それと、もっと責任感のある人になるために役員になろうと思いました。
- やっていた先輩が格好よかった。人の役に立てる仕事がやりたかったけど、小学校の時失敗してそのリベンジでとにかくやりたかった。
- 生徒会長になった理由は、中学校を明るく楽しい学校にし、少ない人数だけれど互いに支え合える関係にしていきたいと考えたからです。
- 生徒会役員になって学校をより良くするための意見を積極的に出したかったから。学校全体に関する様々な活動をしたいと入学した時から考えていたから。
- 自分の課題として、責任を持って行動でき、学校の中心になれる人になりたかったから。今まで先輩が築いてくださった学校を維持し、さらに良い学校を目指したかったから。学校が楽しいと思ってもらうため、あいさつをしっかりとってもらうため。学校全体の中心になりたかったから。
- 人と話すことが苦手なのでスムーズに話せるようになりたいので。
- 学校のために動くというのがやりがいがあるなあって思ったし、優しい人がたくさんいたから入りやすかったから。
- 中学校の時に生徒会に入っていたから。学校祭を手掛けてみたかったから。
- 自分を変えるためになってみようと思った。
- 何かしたかったから。人と協力したかったから。

Q2 児童会、生徒会役員になってよかったと思うことはなんですか？

(これから的人是は、楽しみにしていることや、やってみたいことなど)

- 赤い羽根募金などいろいろな人の役に立てることです。これからはもっと交流を深めていきたいです。
- 自分に自信がついたこと。いろいろな人に「おめでとう」、「がんばってね」と言われたこと。
- 自分たちが企画した活動に対し、お礼の言葉などを言ってもらえた時はすごくうれしいです。これからやるペットボトルキャップマンという企画を楽しみにしています。
- 学校を歩いているときに「会長だ！」と言われるのがうれしい。学校のいろいろなことを決められるので、頑張りたい。
- 学年と学年にほとんど壁がなく、けっこう仲良くやっていて楽しい。
- 明るい学校にするための話し合いに参加できることです。
- 児童会の人々と協力していろいろな取り組みでいくのがとっても楽しいのでなってきたと思います。
- 自分たちが考えた企画でみんなが楽しんでくれること。
- 学校祭までの苦労が実った学校祭の日が一番喜びを感じたこと。
- 自分たちが学校のためにしていることが役に立ったり成功したりするとよかったと思うし、やりがいを感ずきます。
- 体育祭でも学校祭でも全校集会でも自分たちがつくりあげていくという高い意識を持つことができた。大きく成長することができた。
- 自分たちが考えた活動で生徒が楽しんでくれていること。あと、いろいろな体験・経験ができることです。
- 自分が出した案がそのまま採用されたりした時はうれしかった。
- イベント活動など積極的にやりたい。
- 球技大会などの行事運営が楽しみです。ペットボトルキャップ以外のボランティア活動をしてみたいです。
- 大変なことも多いが、様々な活動の中心となり多くの経験ができること。雰囲気明るくなった。活動を生徒が楽しんで取り組んでくれる。
- 目上の人との会話を改めて覚えることができること。人前に出ることが多くなったので、緊張することが少なくなったこと。
- 学校行事が終わるごとに「お疲れ様」と先生方に言われたり、先輩方とのコミュニケーションが一番とれたりすること。
- 責任を持って行動する大切さを学んだこと。人前に立って何かをすること。それが少しでも恥ずかしくならなくなっ

たこと。

- イベントの企画を考えて実行に移すことができたのがすごくよかった。
- 役に立ててよかった。

Q3 自分たちの児童会、生徒会では、どんな活動をやっていますか？(主なもの)

- 赤い羽根募金、あいさつ運動、歌で学校を変える活動、雪中レク、ペットボトルキャップマン撮影、ごみ箱設置(当小)
- 学校の生活のことや色々なこと。リングプルキャップ集め、学校行事の司会、あいさつ運動、西当小チャンピオン、あいさつ運動、西小タイム、学芸発表会での活動、集会・企画などの準備や司会など(西当小)
- 東日本大震災募金活動、リングプルベルマークの回収、みんなで遊ぼうタイム(弁小)
- 優強キャンペーンの時期にはトリプルC(cap card contributiopn)という活動。エコキャップとリングプルの回収、6年生へのメッセージカード作成、ユニセフ募金。一定期間のあいさつ運動。(当中)
- ピアサポートやあいさつ運動、回収運動、地域と連携した活動、学祭、全校集会の企画運営、Stop なう。(西当中)
- ペットボトルキャップの回収、生徒会だより、全校集会、あいさつ運動、行事の運営(弁中)
- 広報活動、各行事の企画運営、生徒会新聞、石狩当別駅の掲示板作成、学校祭のアーチ、校内掲示板(当高)
- イベント企画、学校行事手伝い。(星槎高)

「当別町を全国区にするには～PR大作戦～」

グループディスカッション グループ意見

（１）ここが当別町のいいところだ！と感じていること

A班

- ・自然豊か
- ・住宅街がきれい
- ・夜空がきれい
- ・食べ物の生産量が多く、おいしい
- ・お年寄りが元気
- ・みんなが優しく仲が良い
- ・スウェーデンとの交流がある

B班

- ・自然がたくさん
- ・道民の森がある
- ・環境を大切にしたバスがある
- ・公園など遊べる施設がある
- ・みんな仲良し
- ・スウェーデンとの交流
- ・行事がたくさんある

C班

- ・自然が豊か
- ・星が綺麗
- ・道民の森が観光地としてよい
- ・雪が多い
- ・ふれあい倉庫があり当別町の特産品が容易に手に入る
- ・野菜がおいしい
- ・札幌に近い
- ・お店がたくさん
- ・信号が少ない
- ・スウェーデンとの交流
- ・町内の人が優しい

D班

- ・野生動物がいる
- ・森がある
- ・ふくろうがいる
- ・エコな町
- ・スウェーデンヒルズからの景色がよい
- ・外国人がいる
- ・高校がある

（２）当別町のいいところをPRするためのアイデア

A班

- ・当別町に住んだ人への特典をつくる
- ・当別といえば〇〇をつくる
- ・特産品を全国へ
- ・当別町産の野菜で加工品作る
- ・食料の安全をアピール
- ・環境問題を考えて地球にやさしくし、TVでPRする
- ・星の観測場所を作る
- ・当別町全員で鬼ごっこ
- ・ゆるキャラ
- ・とても大きなかまくら
- ・あそ雪まつりを大規模にする
- ・姉妹都市との交流を活発に
- ・道民の森で人を集める
- ・道の駅を作る
- ・ポスターを貼る
- ・新聞に記事を書ける
- ・ネットを活用
- ・ツイッター
- ・フェイスブック
- ・ブログ
- ・テレビでアピール
- ・CM
- ・電車内広告

B班

- ・道民の森ツアー
- ・農業体験
- ・道の駅
- ・大きなかまくら
- ・いもだんご汁屋さん
- ・温泉
- ・行事のアピール
- ・CM
- ・TV番組に投稿する
- ・新聞
- ・インターネット

- ・歌をつくる ・〇〇〇48をつくる ・川柳をアピール
- ・ゆるキャラ ・服屋をたくさんつくる ・ショッピングセンター
- ・においのないエコバスをつくる ・展望台 ・当別出身の有名人を出す
- ・ふれあい倉庫の利用

C班

- ・有名マンガの舞台に使ってもらう ・当別を舞台にした映画を作る
- ・当別町ツアーを作る ・自然のジェットコースターを作る
- ・当別で育てた野菜を使って調理して無料で提供
- ・都会の各地においしい野菜を直売する
- ・アウトレットの店をつくる
- ・ロコミを流す（ツイッターなど） ・PR動画をサイトで流す
- ・都会の電柱にチラシで当別町のアピール ・オリンピックを当別町で！
- ・ゆるキャラ ・各地域の人々と交流していく

D班

- ・めずらしい文化を作る ・今までにない家を作る。 ・有名な学校をつくる
- ・史上初のものをつくる ・世界一のものをつくる ・当別町キャラをつくる
- ・当別町だけのキーホルダー、マスコットをつくる
- ・当別町だけのものをつくる
- ・当別町の旅行プランをつくる
- ・テレビCMで当別を紹介 ・本にして紹介 ・ブログ
- ・温泉をほる
- ・化石などを発見する
- ・きれいにする
- ・芸能人をいっぱいだす

（３）当別町のキャッチコピー

A班

- ・きらきら当別
- ・きれいな町
- ・人に優しい町
- ・野菜と自然 それからいい町 当別町
- ・四季折々の景色がきれいな町
- ・燃えるときは燃える 当別マダム達
- ・おだやかな町
- ・みんなが「協力」できる町
- ・交流が多い町
- ・野生動物が間近で見られる
- ・世界一だ！絶対に！当別町
- ・good life が送れる町

B班

- Lets 当別
- 森々（もりもり）当別
- ふれあい当別
- 多文化当別
- 流行の最先端

C班

- 自然の町当別
- 自然の町、ホーホー当別
- にぎやかでたのしいまちだ 当別は
- 自然と欧州の空気を感じませんか？当別で・・・
- 自然が見たい！？それならここにそろってる！！くる！？くるでしょ！？自然の町 in 当別！

D班

- 自然がある仲が良い町
- エコな町

当別町を全国区にするには
～PR大作戦～

平成24年度（第5期）当別町小中高生TOWNマーティング
Aグループ

当別町のいいところ

自然豊かで景色が美しい町

PR作戦

夜景、五郎丸、昭和三十九年
入水記念バスツアー！

当別町のキャッチコピー

Goodな毎日 当別町



当別町を全国区にするには ～PR大作戦～

平成24年度（第5期）当別町小中高生TOWNマーティング
B グループ



当別町のいいところ

自然がたくさんあり、農業もさかんでその環境を大切に
している。



PR作戦

- いろいろなお店をつくる
(飲食店やコンビニエンスストア等)
- 当別のよさをいかした企画をつくる
(農業体験等)
- 当別のよさをアピールする(自然や行事、文化など)
- 宣伝の域を広げる(当別町の魅力やアポイントをつくる)
- インターネットや新聞で当別町のいいところをアピールする



当別町のキャッチコピー

Let's go 当別!!



当別町を全国区にするには ～PR大作戦～

平成24年度（第5期）当別町小中高生TOWNマナーチャレンジ
C グループ



当別町のいいところ

須田さん

自然が豊か・スウェーデンとの交流がある



PR作戦

当別ツアーを作る・H&Mを建てる

中川さん

自然のジレットコースターを作る・ゆるキャラ作り など etc...



当別町のキヤッチコピー

せとみこ
細川

ホーホー ふくろうがいる！ 翼は欧州の雰囲気か...

そしてとってもにぎやかで楽しい！！ 自然が見たい！！ 笑顔をみたい！！

欧州の空気をだってここにはそそってる！！



当別は

来る！来る！来る！空に星をのこすよ！

自然のまじり

当別町を全国区にするには ～PR大作戦～

平成24年度（第5期）道庁町小中高生TOWNマーチング
Dグループ

当別町のいいところ

自然が溢れる町は、曲でバスが通ずる。
（と、その森を歩くと）

PR作戦

テレビでも、エコ活動や

道民の森を有名にさせる。

当別町のキャッチコピー

外国との交流があり、

自然あふれた町の、当別町



当別町を全国区にするには ～PR大作戦～

平成24年度(第5期)当別町小中高生TOWNミーティング

大学生グループ

北海道医療大学 学生キャンパス副学長
SCP (Student Campus President)
薬学部 小野寺 太助
歯学部 大平 慎
看護福祉学部 下房地 宏



当別町のいいところ

- ・積雪量が多い(ウインタースポーツが楽しめる!) ・自然が綺麗で新鮮な食材が豊富
- ・プロスポーツ選手や有名人を輩出してる



PR作戦

- ・観光プランを練り込み、広報活動にも力を入れる
- ・当別を舞台にした小説、アニメを制作してもらう



当別町のキャッチコピー

TBT42 ~ひゃこく、あたがい~



平成24年度（第5期）当別町小中高生TOWNミーティング 参加者アンケート

回収 19 （大学生含む全参加者24名中）

1. 小中高生TOWNミーティングに参加して、

(1) とても良かった 13 (2) 良かった 6 (3) あまり良くなかった 0 (4) 良くなかった 0

理由

- ・自分にとっていい経験になったから。
- ・自分の意見や思っていることを言えたから。
- ・普段なら考える機会がないようなことを一人ではなく、みんなで考えることができたから。×2
- ・学年や世代を超えた人たちと交流して、いろんな意見交換ができたから。×5
- ・同じ町内で学校の代表として頑張っている人と交流できてよかったから。
- ・今まで以上に自分の知らなかった当別のいいところがわかったし、当別のことについて考えることができたから。×5

2. このような機会がまたあるといいな、と思いますか？

(1) とても思う 12 (2) 思う 7 (3) あまり思わない 0 (4) 思わない 0

理由

- ・他の学校の人たちとも仲良くなれるし、交流が深まり、これからの生徒会活動に活かせると思うから。×3
- ・様々な年代で意見交流ができるのは大きな意味があると思う。
- ・話し合いで自由になることはあまりないので、楽しかったから。
- ・これからの当別町の発展につながってより良いまちづくりができるから。
- ・町を良くしようという気持ちが芽生えるから。
- ・もっといろいろな人が当別のことを考え、知ってもらい、良いまちになってほしいと思ったから。×3
- ・もっといい案を出して、PRを続けていけば、将来本当に有名にできるかもしれないから。×3
- ・今度は実現に向けて話し合うと当別がもっとよくなると思うから。
- ・今回はテーマが大きく身構えてしまう部分もあったが、多くの意見や様々な視点での意見を聞いたので、今後もこういった機会ですらに考え方が広がるとよいと思ったから。
- ・PR活動を考えて実行できればさらによくなると思う。
- ・考えるだけでなく実行する、広めるところまで進みたかった。

3. このような機会を、今後の児童会・生徒会活動に活かせると思いますか？

(1) とても思う 11 (2) 思う 8 (3) あまり思わない 0 (4) 思わない 0

理由

- ・他の学校でどのようなことをやっているかについては活かせると思ったから。
- ・話し合いのやり方などが活かせると思ったし、新しい活動を考えようと思ったから。×2
- ・付箋などを使って意見をたくさん出すところがよかったから。
- ・難しく考えるのではなく、楽しく考えるということを学んだ。
- ・考える力、相手に伝える力がついたと思うので。
- ・TOWNミーティングだけでなく、学校でも話し合えるといい。
- ・この話し合いを用いてやると面白くて、活発な生徒会になると思うから。しかし時間がかかる

のが欠点。

- ・積極的に意見を出すこと、様々なアイディアを出すことを大事にしたい。
- ・違う考えの人との話し合いや、意外な考えの発想は活かせると思ったから。
- ・たくさんの学校が協力して「当別町」を支えれば、きっと大きな力になると思うから。×2

4. 参加しての感想など

- ・自分が見ていた当別と、みんなが見ていた当別が同じところと違うところがあり、当別のことが知れてよかった。今後もミーティングを続けていって、たくさんの人に知らせていってほしいと思う。
- ・大学の見学の時、大学生じゃないと見られないものを見られて楽しかった。他のグループの意見をすごかった。
- ・TOWNミーティングが終わって来年や再来年になっても当別町のことを考えられるといいなと思う。当別町のことを多くの人と考えられて嬉しいし、多くの人がTOWNミーティングに参加してくれるといいなと思う。
- ・児童会が将来の夢の職に似ていたので入ったのですが、TOWNミーティングに参加して、また夢の一步に近づいたと思います。来年もやってください。
- ・最初はどんなものなのだろうと不安だったけど、2回目3回目になると自分の思っていることを言えてよかった。来年も行っていきたいです。
- ・他の人が自分と違う意見を持っていたので、改めて当別町のいいところを知ることができた。また、話し合いの方法が気楽にできる方法だったので、メンバーと打ち解けやすかった。
- ・思ったよりも堅苦しくなく、楽しく話し合いができてよかった。このような機会があるならできれば来年も後輩を連れて出たいと思った。
- ・他の学校の人との交流は滅多にないので、このような機会はすごい貴重なものと思った。当別町のPR方法などをたくさん出して、今までより当別町の良いところを知ることができた。これから当別町を作るのは自分たちだから今回の経験を活かして頑張っていきたいです。
- ・参加してとても勉強になりました。今回のやり方でこれからの生徒会活動に活かそうと思った。またこのような機会があったらぜひ参加したいです。
- ・楽しく当別について考えることができたので良かった。違う学年の人の意見を聞いてすごいと思う部分や、なるほどと思う場面が多く、とても有意義な時間だったと思う。
- ・楽しかったし、とても良い意見がたくさん出て、面白い意見もあってよかった。自分が考えもしなかったことを他の人が言ってくれ、共感もできた。次回から参加はできないけど、後輩やまた新しい児童会、生徒会の人たちに頑張ってもらいたい。
- ・他の年代の人とも交流でき、役に立つことがたくさんあった。大学の中を見学してみて興味深いものがあった。他の町内の学校も見学してみたいと思った。楽しくTOWNミーティングが終われてよかったです。
- ・今回参加して本当に勉強になりました。どう考えるのか、どう実行するのか、人がいればいるだけ出てくるので、学校で町内でやると…などと考えているうちにものすごいことになりそうだなと思いました。自分でできることをこれからどんどん実行していきたいと思います。
- ・紙に書かず考えてもいないのに瞬時に感想を述べたり、意見を言ったり、発表をできる人たちがいてすごいと思った。自分もそういう人になって、これからの話し合いに活かしたいと思っている。
- ・小中高大といろいろな人と関わってコミュニケーション能力を向上させたり、町のいいところを言って皆は当別町についてどう考えるのかなど、高校生になってはできないと考えがちな意見でさえ、人が集まればいろいろな意見が出て、それが集まれば大きな力となって、町や世界を帰れるかもしれないと思いました。
- ・当別町のいいところや、どうPRしたらもっとみんなに知ってもらえるかなどの意見を聞いたので参加してよかった。医療大学の校内を見られたので良かった。
- ・地域の皆さん、生徒の皆さんの貴重な意見が聞けて嬉しかった。

活動の様子

第1回 11月21日(水) 16:00~17:30 参加者19名

初回は、初めて会ったメンバー同士で自己紹介ゲームなどを通じてお互いのことを知りあったり、「児童会・生徒会になった理由は？」などそれぞれの思いを語り合ったりしました。

また、ブレインストーミング、KJ法などの技法や、話し合いをする際のポイントなどを体験的に学習しました。



さあ、まずはグループごとに集まってみよう。



私が生徒会で楽しみにしていることは…



どんな案があるかな… まずは質より量です。



簡単なテーマでKJ法の練習をしてみよう。

第2回 11月28日(水) 16:00~17:30 参加者17名

前回学んだ話し合いの技法を用いて、「当別町を全国区にするには～PR大作戦～」をテーマに、それぞれ事前に考えてきた案を出し合いながら、グループ全員で「1 当別町のいいところ」、「2 PR作戦」、「当別町のキャッチコピー」の3点を項目ごとにまとめ、次の発表会の準備をしました。



まずは、今日の流れの説明を聞きます。



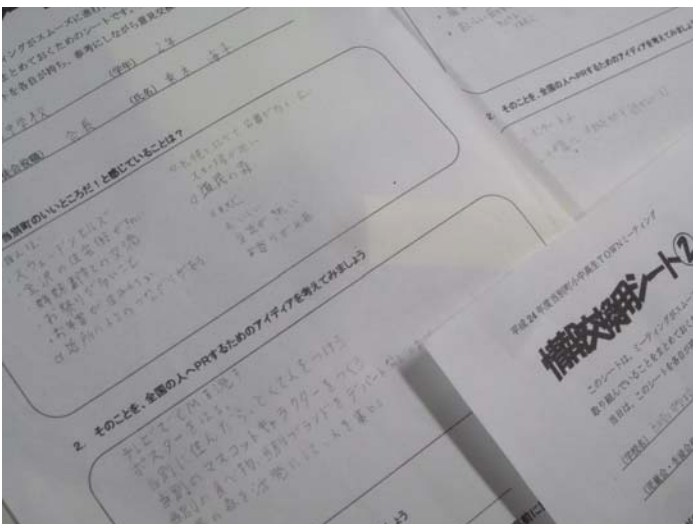
さて、みんなどんな案を考えてきたかな。



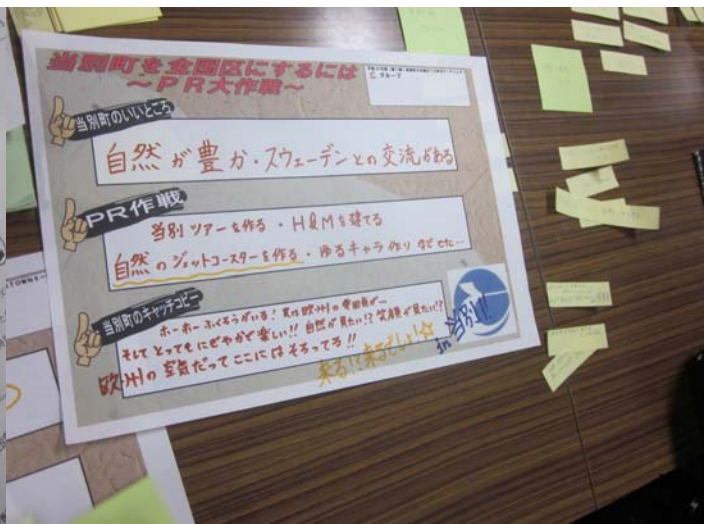
いろんな年代の人が集まると多様な意見が出てくるね。



先生も気になって見学です。



事前に考えてきたシートです。



たくさん出た意見の中から、数点にまとめました。

第3回 12月1日(土) 10:00~12:00 参加者21名 (グループディスカッション結果発表会)

まず大学生によるアイスブレイクのためのクイズ、キャンパスの見学などを通じて大学のことについて感じ取りました。

その後、みんなで案を出し合い、当別町のことについて考えた結果発表会を開催しました。どのグループの発表も地域のことをよく考えた結果が伝わってきて、素晴らしい発表でした。

町役場まちの未来推進室や広報担当の方、青年会議所の方などからもコメントをもらい、これから担う子どもたちの発表に期待をしていました。



大学生によるクイズで緊張もほどけました。



キャンパス内の見学です。



大学生はここに座って勉強しているんだ。



いよいよ発表です。



多くの方の前で、堂々とした発表でした。



大学生も今日の日のために案を考えてきてくれました。



この提案がまちを変えるかも…

他のグループの発表聞いて感想を話し合います。



参加証を持って、みんなで記念撮影。

**初めて会った 通う学校も 年齢も違うメンバーで
アイディアを出し合い
みんなが住む“まち”のPRについて考えました。**

**次年度以降、このアイディアをもとに
当別町のために実行に移していく予定です。**

**これからも児童会・生徒会みんなで協力し、
よりよい学校・地域にするために
自分たちができることを
できることから はじめてみよう。**